

## 平成28年度ユニバーサルデザイン（UD）教育の取組

|                |                  |         |                 |                   |
|----------------|------------------|---------|-----------------|-------------------|
| 1 学校名          | 白石町立有明中学校        |         |                 |                   |
| 2 所在地          | 杵島郡白石町大字坂田290番地1 |         |                 |                   |
| 3 校長名          | 木原正和             |         |                 |                   |
| 4 学級数<br>児童生徒数 | 6<br>189         | 学級<br>人 | 5 実施学年<br>児童生徒数 | 1<br>66<br>年<br>人 |

## 6 取組のねらい

UD（ユニバーサルデザイン）の学習を通して、地域のUD（ユニバーサルデザイン）について関心を持ち、誰もが自分らしく安心して暮らせる地域づくりやより良い郷土を考える。

## 7 取組の実際

## ① 6月24日UD講習

- ・ 県民協働課ユニバーサル社会福祉担当 山本さんの講話

UDとは？UDがなぜ必要なのか？等、基本的な事について演習を入れながら学習を行った。

- ・ 嬉野高校社会福祉系列生徒3年生の講話

嬉野高校生による講話を聞き、UDとバイアフリーの違いの学習を行った。また、高校生の解説を受けながら、UD作品に直接触れることや身近にあるUD製品を知ることによって興味を持って学習を進めることができた。



## ② 8月26日UD講習

- ・ 車いす・アイマスク体験

白石町社会福祉協議会の方に来ていただき体験を行った。ブラインドウォークでは、アイマスクを着用して校内を回った。点字や点字ブロックの必要性、階段に手すりがあることの重要性や言葉かけの大切さを感じることができた。車いす体験では、車いすに乗り降りさせる時の注意点を学んだうえでスロープや階段を車いすで移動する体験を行った。わずかな段差でも移動が困難であることや声かけをすることで安心感が生まれることを学んだ。



### ③ 9月7日校外学習《福岡方面》

#### ・UD探し

太宰府天満宮（観光地）と博多駅（公共施設）といった多くの人々が利用する施設内にあるUDを発見し、その良さに気づくことができた。



### ④ 10月17日UD講習

#### ・手話体験

白石町社会福祉協議会の方に来ていただき体験を行った。手話を通して会話をを行い、習ったことを文化発表会で発表した。



## 8 取組の成果と課題

#### ・成果

授業や講演、校外学習などにおいて、身の周りにあるさまざまな生活用品や施設設備の状況について学習を進めることによりUDの意味や重要性について理解することができた。このことから、年齢や性別に関係なく、生活をより豊かに送るためのアイデアを知り、人とのかかわりについて考える良い機会

になった。

• 課題

UDの意識の定着を図るためにも、日々の実践活動の工夫、改善が大切ではあるが、何より継続的に学習することが大切である。今後とも、生徒の発達段階に応じた系統的指導を行うことができるよう、カリキュラムづくりを行うことが必要である。



※文化発表会でUD新聞コンクールを行い、入賞した作品を県のUD作品コンクールに出品した。